

 日本生殖看護学会

ニュースレター

No.
64

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)

目次

・実装研究は看護にどのように活かされるのか	1
・不妊症看護認定看護師 リレー寄稿 No.21	2
・第21回日本生殖看護学会学術集会のご案内	3
・2022年度 不妊症看護認定看護師ポストコース研修会	4
・これから行われる学術集会・研修会情報(2023年3月～6月)	5
・日本生殖看護学会 生殖看護地区実践セミナー企画について	5
・2023年 生殖看護関西地区実践セミナー開催のお知らせ	6
・実践開発委員会からのお知らせ	6
・理事会報告	7
・寄付金を募集しています！	7
・事務局からのお知らせ	8
・会員数 MAP	8
・原稿を募集しています！	8
・編集後記	8

実装研究は看護にどのように活かされるのか

広報委員会 崎山貴代

テレビや電車の中など生活の様々な場所で、「社会実装」の言葉を見かけます。看護領域も同様で、この概念は様々な学術集会のテーマとしても取り上げられています。

実装研究とは、どのような研究を指すのでしょうか。よく使用されている定義が、「研究結果やその他のエビデンスに基づく実践を日常業務に体系的に取り入れ、それによって、医療サービスとケアの質および有効性を向上させる方法についての科学的研究」です。実際の臨床現場では、「論文として公表されているのに、臨床に広まらないケア」が多く存在します。エビデンスのある介入にもかかわらず、それを現場に定着させることは非常に難しいことです。それは、研究のために準備された環境では効果があっても、それ以外の環境で本当に効果を発揮するかどうかはわからない、現場に受け入れられないといった様々な障壁があるからです。実装研究とは、研究から得られたエビデンスを活用し、その介入が現場でどのように機能するかを検証することにより、医療保健サービスの有効性を高め、ケアの質向上を図るといえる、現場にいる医療従事者向きの研究であり、現場をよくするための研究方法であるといえます。研究者だけでなく、患者・医療従事者などのステークホルダーとの協働が必要である研究です。

生殖看護においても、研究者と患者・医療従事者が協働して、導入するケアの成果や課題を明らかにし、よりよいケアを生み出すこの実装研究に、今後、着目が置かれることでしょう。

不妊症看護認定看護師 リレー寄稿 No.21

「今までの活動と今後に向けて」

トヨタ記念病院 吉川典子

私は、総合周産期母子医療センターから不妊センターを独設する際に、認定看護師を取得しました。早いもので、もう今年で20年になります。

当院はがん拠点病院で、がんの妊孕性温存治療も行っています。件数はさほど多くはないものの、短期間での卵子凍結や、精子凍結ができなかったなど難しい症例もあり、対応に苦慮することも多いです。他分野の認定看護師とともに、院内・院外スタッフ向けにがん看護ジェネラリスト養成講座を開催しており、妊孕性温存についての内容を担当しています。

2016年から、市の不育症・不妊症相談を行っています。月1回2組までの予約制で、近隣の認定看護師3名で担当しています。相談者の内訳は、未治療と治療中がそれぞれ4割強、休止中が1割弱となります。1回のみ相談で、その後どうされたか、他に相談できているか、気になるケースも多いですが、利用者の満足度は8割以上が良い評価です。相談の場は、今後の治療について決断する契機となり、また「話す」ことで気持ちを浄化する場となっているようです。一方、利用率は予約枠全体の5割未満であり、行政事業として今後さらなる活動展開をしていくための検討が必要であると感じています。

また、3年前から性暴力被害者支援看護師としても活動を開始しました。生殖医療の現場で、元性暴力被害者であることが発覚することもあり、長期フォローの必要性を痛感します。

目下の悩みは応援体制です。不妊センターでは、患者1人に対して、診察介助から説明までを同じ看護師が受け持つようにしています。これにより患者満足度は上がりましたが、専門性が高く、他部署からの応援者では対応が難しくなりました。応援者の育成や業務の見直し・改変を求められています。周産期センターと産婦人科外来とが一元化して応援体制をとるようになったので、そこへ併合する案も検討中です。

前号の加藤佳代子さんに、私も同意見です。組織として求められている役割は、自分の意図するものと違う場合もあり、また変化もします。そのおかげで、私の活動対象は、いまや、精子・卵子をつくる場所から、更年期・老年期までと幅広くなりました。どのようなケースでも、より多くの専門性の高い知識を必要とし、対象に寄り添いながら意思決定支援を行っております。点ではなく、途切れない支援を目標に、今後も活動を続けていきたいと思えます。

次は長野市民病院の篠原宏枝さんです。



第21回日本生殖看護学会学術集会のご案内

テ ー マ:「多様な社会に求められる生殖看護 — 未来への挑戦と創造 —」
会 期: 2023年9月3日(日) 9:30 ~ 17:00
開催方法: 現地/後日オンデマンド配信
会 場: 福井県県民ホール (福井駅前 アオッサ 8階)
(〒910-0858 福井市手寄1丁目4番1号)

メインテーマは、「多様な社会に求められる生殖看護 - 未来への挑戦と創造 -」です。日本生殖看護学会は昨年20周年を迎えました。生殖看護の更なる発展のためには、多様な社会、多様な対象への妊孕性支援について最新の知識・情報、課題を共有し、未来への挑戦と創造について語り合う機会が必要と考え、福井市での現地開催といたしました。前日の午後からは、共催セミナーも企画しております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

学術集会長 波崎由美子

● 学術集会プログラム (予告なく変更となる場合がございます)

9月2日(土)学術集会前日・共催セミナー (協賛: バイエル薬品)

14:00から17:00 「生殖看護に期待したいプレコンセプションケア」 * 選択研修(要件あり)

前田惠理氏(秋田大学大学院医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座 准教授)

9月3日(日)第21回日本生殖看護学会学術集会

09:00 ~	受付開始
09:30 ~ 09:35	開会式・オリエンテーション
09:35 ~ 09:55	会長講演
09:55 ~ 10:45	教育講演「つなぐ力 - 福井モデルと生殖医療の未来」 折坂 誠氏 (福井大学医学部 産科婦人科学 講師 高度生殖医療センター副センター長)
10:45 ~ 11:45	特別講演「ART 出生児の長期予後から考える生殖看護の役割」 * 選択研修 上野 啓子氏 (東京医科大学産科婦人科分野 病院助教)
12:00 ~ 13:00	ランチョンセミナー「日本人に必要な葉酸の知識」 * 選択研修 太田 邦明氏 (東京労災病院 産婦人科部長)
13:10 ~ 13:40	総 会
14:00 ~ 15:00	一般演題: 口演・ポスター発表
15:10 ~ 16:40	シンポジウム「リプロダクティブヘルスを支える ART とケアの未来」 * 選択研修
16:50 ~ 17:00	優秀演題表彰・閉会式

* CLoC MiP レベルⅢ 更新申請・再認証申請の選択研修

● 学術集会参加費

第1期登録: 会員6,000円 / 非会員7,000円 / 学生(大学院生は除く)2,000円

・ 第1期登録締切日: 2023年8月14日(月)

第2期登録: 会員7,000円 / 非会員8,000円 / 学生(大学院生は除く)2,000円

・ 第2期登録締切日: 2023年9月25日(月)

● 一般演題募集

抄録登録締切日: 2023年5月8日(月)

● お問い合わせ先

第21回日本生殖看護学会学術集会事務局

福井大学医学部看護学科 育成期看護学分野内

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

事務局E-mail アドレス jsfn21th@academic-meeting.com

詳細につきましては、第21回日本生殖看護学会学術集会 HPをご覧ください。

<https://academic-meeting.com/jsfn21th/>

(3月に開設予定)

2022年度 不妊症看護認定看護師ポストコース研修会

担当：教育推進委員会

日本生殖看護学会では、2022年度の不妊症看護認定看護師ポストコース研修会として、生殖看護の対象となるカップル像も多様化している中で、今回はLGBTを取り上げ、LGBTカップルの出産とその支援を考える機会としたいと考え、企画しました。体験者の話が聞ける貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

テーマ：「生殖看護の対象となる新しい家族、様々な家族の出産を支援するとは」

開催日時：2023年3月11日(土) 13時30分～16時30分

開催方法：Zoomを用いたweb開催

受講対象者：不妊症看護認定看護師

定員：100名

参加費：学会員 1,000円、非学会員 3,000円

プログラム：

時間	プログラム	内容・方法
13:30～13:40 (10分)	開催挨拶 ガイダンス	
13:40～15:20 (1時間40分)	シンポジウム	① LGBTカップル（女性カップル）出産体験者の立場から ② LGBTカップル（男性カップル）出産体験者の立場から 新しい家族を作ることについての考えやその道のり・困難点 について体験談を話していただく。 ③ LGBTカップルが新しい家族を作ること支援するNPOの立場から 講師：杉山 文野氏（東京レインボープライド共同代表理事） 性的マイノリティの方々が新しい家族を作ることに対してどのように支援しているのかその実際と課題について話していただく。 ④ LGBTカップルの出産を支援する医療職の立場から 講師：藪内 絵美氏（札幌医科大学附属病院 助産師） 実際に妊娠から出産までの支援を経験し、外来での健診、病棟での受け入れ体制などどのような準備を進めてきたのか、対象者とのやり取り、医療関係者間の連携などについて話していただく。
15:20～16:00 (40分)	グループ ディスカッション	グループに分かれ、自分たちができる支援について考える
16:00～16:30 (30分)	発表	
16:30	閉会挨拶 アンケート入力	

申込方法：下記のURLよりお申し込みください。（締切3月9日(木)）

<https://famione.co.jp/postcourse2022/>

申込みが完了しましたら、改めてセミナーの参加方法についてご案内をさせていただきます。

問合せ先：日本生殖看護学会教育推進委員会 野澤 美江子

e-mail：jsfn.edu@gmail.com

これから行われる学術集会・研修会情報（2023年3月～6月）

月	日	学会・研修会名	会場	学会HP／運営事務局
3月	11日	2022年度不妊症看護認定看護師ポストコース 生殖看護の対象となる新しい家族、様々な家族の 出産を支援するとは	オンライン開催	https://jsfn.org/seminars/postcourse2022/ 日本生殖看護学会教育推進委員会 jsfn.edu@gmail.com
4月	14日～15日 オンデマンド 21日～5月1日	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター 養成講座（第51回）	コンgresクエア 日本橋 （東京都中央区）	https://www.jsinf.com/
5月	12日～14日	日本産科婦人科学会学術講演会（第75回） 慈心妙手	東京国際フォーラム （東京都千代田区）	https://www.congre.co.jp/jsog2023/index.html 株式会社コングレ 〒103-8276 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング E-mail：jsog2024@congre.co.jp
	13日	日本不妊カウンセリング学会学術講演会 （第22回） 変わりゆくARTに「いま」求められること	日本教育会館 一ツ橋ホール （東京都千代田区）	https://meeting.letterpress.co.jp/jsinf22/ 【運営事務局】 レタープレス株式会社 東京営業所 〒110-0005 東京都台東区上野3丁目22番4号 MOTビル6階 E-mail：jsinf_coordinator@letterpress.co.jp
	28日 オンデマンド 28日～6月30日	日本母性看護学会学術集会（第25回） 誰ひとり取り残さない“ぬくもり”のある母性看護 ～研究と実践の円環～	武蔵野大学： 有明キャンパス （東京都江東区） ハイブリット開催	https://www.procomu.jp/jsmn2023/ 株式会社プロコムインターナショナル 〒135-0063 東京都江東区有明三丁目6番地11 TFTビル東館9階 TEL：03-5520-8822 E-mail：jsmn25@procom-i.jp
	オンデマンド 28日～6月30日	日本母性看護学会学術集会（第25回） 『市民公開講座』 性教育を学んでいない親こそ学び直し 家庭でできる性教育 ～子どもからのSOSをキャッチする	オンライン開催 ※学術集会参加者で なくても、どなたで も視聴自由	
6月	17日～18日	日本保健医療行動科学会学術大会（第37回） 未来志向の保健医療行動	東大阪大学 （大阪府東大阪市）	https://www.jahbs.info/taikai37.html

COVID-19の影響を受け、オンラインでの開催学会が増え、遠方でも参加しやすくなりました。今までなじみのなかった学会もこの機会に参加してはいかがでしょうか。

日本生殖看護学会 生殖看護地区実践セミナー企画について

日本生殖看護学会教育推進委員会では、会員が主催する各地区のセミナーを支援しています。ぜひ、効果的（学習目標が達成できる）、効率的（参加者・主催者が目標を達成するまでの負担が大きくない）、魅力的（参加したいと思える、もっと学びたいと思える）なセミナーを企画してみませんか。初めて企画を担当される方、あるいは自分たちの地区でもセミナーを開催したいけれども、どうしたらよいかかわからない等がありましたら、お気軽にご相談ください。

また、学会員サービスへの寄与および生殖看護の発展を図ることを目的に、1件7万円を限度としてセミナーの運営費の助成もしております。今年度の応募受付期間は2022年9月1日～2023年6月30日（助成期間：2022年9月1日～2023年8月31日）となっておりますので、ふるってご応募ください。

詳しくは学会ホームページ（生殖看護地区実践セミナー企画）をご覧ください。

【お問合せ・連絡先】 日本生殖看護学会教育推進委員会 担当理事 野澤、中村、奥島
e-mail：jsfn.edu@gmail.com

2023年 生殖看護関西地区実践セミナー開催のお知らせ

【日 時】 2023年4月16日(日) 13:00～16:30

【開催場所】 HORAC グランフロント大阪クリニック

【テ マ】 性教育の現状と不妊症看護職に向けた性教育

【内 容】 **講 演**

「性教育の現状と不妊症看護職に向けた性教育」

講 師：田中 まゆ先生（希咲クリニック 助産師 思春期保健相談士）

グループワーク

包括的性教育について理解し、グループワークを通して不妊症看護師の立場から出来る支援について考えます。

【参加費】 会員：500円 非会員：1000円

【定 員】 30名 定員になり次第受付終了とする場合がございます。

【申し込み方法】 氏名・会員か非会員・所属・職種・連絡先(電話番号・E-mail)を明記の上、
2023年4月2日(日)までに下記メールよりお申込み下さい。

【メールアドレス】 kaneda233@ivfjapan.com

【申し込み期間】 2023年3月1日(水)～2023年4月2日(日)

【問い合わせ先】 HORAC グランフロント大阪クリニック

金田 真紀

E-mail：kaneda233@ivfjapan.com TEL：06-6377-8824

実践開発委員会からのお知らせ

みなさま、学会HPが爽やかにリニューアルし、各項目が閲覧しやすくなったことは、既にご存じのことと思います。トップページを下へスクロールすると、『取材・登壇のご依頼』『臨床でのお困りごとのご相談』のコーナーがあります。『取材・登壇のご依頼』では、学会への取材や講演・セミナーの開催について、不妊症看護認定看護師等の登壇の依頼を受けやすくなりました。依頼内容に対して、最適な人材をご紹介しますので、是非ご連絡ください。

また、『臨床でのお困りごとのご相談』では、当学会に入会している会員限定の特典として、臨床の困りごとに対する相談に、臨床経験が豊富な不妊症看護認定看護師が対応いたします。北海道・東北・関東・中部・近畿・中国四国・九州沖縄の各地域における代表幹事が中心になり、相談に対応いたします。例として、“不妊治療期6年45歳の患者への看護介入方法について相談したい”“流産後の患者への看護について、自分の看護を振り返りたい”“無精子症と診断された男性へどのように関わったらよいかわからない”など、どんなことでも構いません。学会員のみなさまのサポートをいたします。臨床の些細なことでも、ご連絡を頂ければご相談に対応しますので遠慮せずにご連絡ください。

理事会報告

第1回 Web 理事会

日時：2022年11月24日(木)18:00～19:55

方法：Zoom

出席者：上澤，森明，實崎，崎山，坂上，清水，奥島，
村本，野澤，小松原，森恵(敬称略)
西岡&波崎(オブザーバー)

欠席者：中村

【報告事項】

1. 第20回&第21回日本生殖看護学会学術集会報告
2. 2021年度総会について
3. 20周年記念事業「生殖看護テキスト出版」における寄附金関係について
4. 総務及び各委員会(広報・編集・実践開発・看保連対応WG)報告

【審議事項】

1. HP「取材・登壇のご依頼」「臨床での困りごとのご相談」運用について
2. 2022年度ポストコース研修会について
3. 入会審査：4名の入会を承認

第1回臨時(書面)理事会

日時：2022年12月17日(土)

方法：書面(メール)

出席者：上澤，森明，實崎，崎山，坂上，清水，奥島，
村本，野澤，小松原(敬称略)

【審議事項】

1. 入会退会審査：5名の入会と1名の退会を承認

寄付金を募集しています！

日本生殖看護学会設立20周年記念事業 生殖看護テキスト編集特別委員会では、(株)医学書院から『生殖看護ガイドブック(仮)』の出版に向けて精鋭準備を重ねております。今年度9月頃には会員の皆様へは、テキストの無料配布を予定しております。

現在(2023年2月10日)、寄付金を募集中ですが、目標額の6割である632,000円が集まりました。ご寄付いただきました施設様と会員の皆様にご心より感謝申し上げます。

予定出版にむけまして、目標額まで残り4割を達成するため、皆様に寄付金へのご協力を再度、お願い申し上げます。

一般会員の皆様は、1口(2,000円)として2口以上でお願いできれば幸いです。

寄付金の送金先

振込先：滋賀銀行 山科支店

口座番号：845509

口座名称：日本生殖看護学会(設立20周年記念事業)

*税法上の取り扱いはありません。

日本生殖看護学会 理事長 上澤 悦子

生殖看護テキスト編集特別委員会委員長 森 明子

事務局からのお知らせ

1. 第21回学術集会、編集委員会への問合せは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
2. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailで、気軽にご連絡ください。
3. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めをお願い申し上げます。
4. 異動・転居された方は必ず事務局までE-mailで、お知らせください。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます（現在、マイページ準備中です。整いましたら、住所・勤務先変更が可能になります）。
5. 会員数330名（2023年1月20日現在）です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は事務局までE-mailで、お知らせください。（ホームページリニューアルが進行しますと画面より入会申込みが可能になります）。

日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing: JSFN

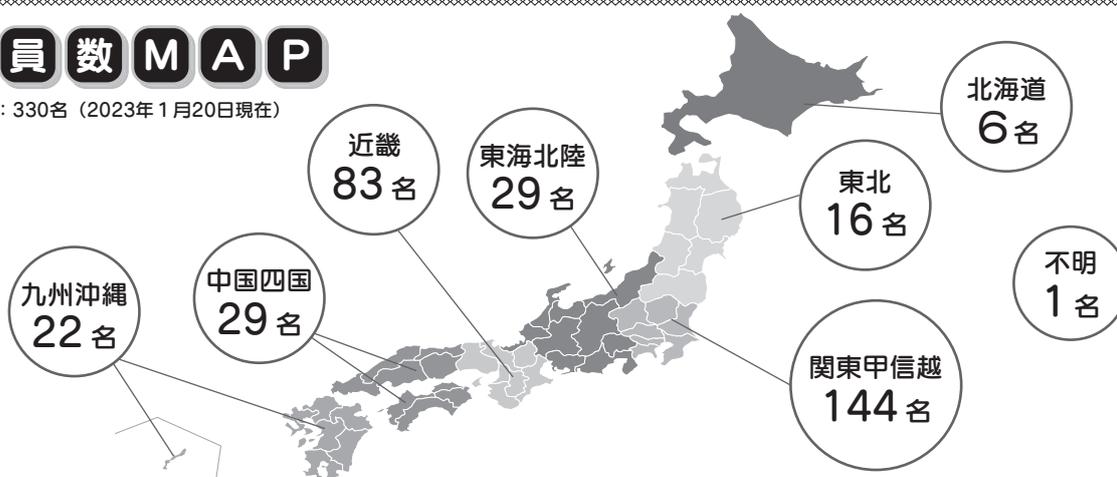
〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 東京工科大学医療保健学部看護学科内

E-mail : jsfnjimu@gmail.com ホームページ <https://jsfn.org/>

口座番号：00170-2-333413 加入者名：日本生殖看護学会

会員数MAP

会員数：330名（2023年1月20日現在）



原稿を募集しています！

ニュースレターを通じて実践活動や勉強会などの情報を共有しませんか？掲載を希望される方は広報委員会 (sakiyama.takayo@gmail.com) までご連絡ください。次号の原稿締切日は、2023年5月19日(金)を予定しています。

編集後記

今春は COVID-19 による行動制限もなくなり、9月の学術集会も福井県で4年ぶりの現地開催を予定しています。福井県と言えば恐竜、永平寺、東尋坊、あわら温泉など観光名所が数多くあります。また学会に参加し、ともに生殖看護の未来を語らう時間は、多忙で見失いがちな何かを見つける機会にもなるはず。ぜひ皆さんと現地でお目にかかれるのを楽しみにしています。

広報委員会 崎山貴代、阿部正子、小池弘子